



The Y's MEN's CLUB of もりおか

<VOL165.2021.9>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パ・メイ中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
 盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

今月の聖句 マタイによる福音書、7章7節

 「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。」

「主題」

「世界とともにワイズメン」
 「100年を越えて変革しよう」
 「変化をたのしもう！」
 「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
 「再起動、新生もりおかクラブ」

国際会長	サム・サンテ (韓国)
アジア太平洋地域会長	大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事	大久保 知宏(宇都宮)
北東部長	南澤 一右 (仙台青葉城)
もりおか クラブ会長	長岡 正彦

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	中村 渉 (チャン)
メネット	井上 優子

令和3年10月定例会

日時、場所 お休みします。
 第二例会 お休みします。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、ワクチン接種は終わりましたか。第5波は終息に向かってきたでしょうか。昨年の春にウィルスは人間を行ったり来たりして無くならなと書きましたが、この新型はインフルエンザが可愛いと思えるほど、いやらしいウィルスですね。人間関係を破壊するし、経済活動を止めるし、人は1人では生きて行けないのに他人との接触をしないようにと気を付けるなんて全くナンセンスです。どうやらそれも終わりに近づいてきたようです。パンデミックを克服する1年とも書きました。ウィズコロナとなつてはいつ第六波が襲ってくるか気がかりです。若い人達は鼻水が出るくらいで回復するとも書きました。今は、若い人が療養中に死んでしまう事例があるのが本当に悲しいです。目に見えない物にこんなに怯える生活が来るとは全く思った事はありませんでした。でももうすぐでそれも終わるでしょう。私たちは

知恵がある人間です、間もなく薬もできるでしょう、「新型コロナ感染ですね、この薬を飲んで1週間お休みください。」という日も間もなく来るでしょう。無茶な行動はしないように気を付ければ、普通に生活していけるでしょう。もうすぐです、なんと待ち遠しい事でしょう。しかし今が本当に大事な時です。ワイズの活動はもう少し我慢しましょう。今年のクリスマスや忘年会をできるように、今はコロナの侵入を許さないためにも自主自粛を続けましょう、10月の定例会は中止します。

9月中止になった軽トラ市は10月から再開します。完全防備で今年あと2回営業してきます。良いのだろうか？という気持ちとの葛藤ですが、ファンを作らなければもりおかワイズも負けてしまいます。「コロナになんか負けるな！」頑張って営業をします。

それにしても、変異ウィルスが怖いですね。ワクチンを2回接種した方の感染死亡の報道がありました。ワクチンの有効な人の割合は、95%ですから、残り5%は接種しても駄目な人がいるようです。ますます気を付けましょう。

9月のハッピーバースデー 全国の9月生まれの方 誕生日おめでとうございます。

ある日のメネットの独り言

井上 修三、優子 ご夫妻

「海拔500余mの向山小学校への通学、八木山グラウンド(当時本当に何も無い)への秋の歩く遠足(現在仙台ではほとんどの市民が知っている遊園地、動物園となっている)

私の住んでいたのは向山1丁目。伊達家廟瑞鳳殿が夏のラジオ体操会場。時移り、北斜面に開発された団地の4階の部屋から毎日蕃山にご挨拶をし、時に愚痴など漏らしていた子育て真っ最中の私。かつて一度しがみついで登った太白山を仰ぎながらの緑に囲まれた茂庭の地。そしてこの20年は2038mの岩手山、朝に夕にご機嫌伺い。向き合う山のある幸せ、本当に幸せ…。ありがとう！」

少々呆けてきたのかな？いや、私より5才年下なのだから。いやいや年齢には関わりなく人は壊れるものだ。私が面倒を見てもらうものと思っていたのだから、逆になったとしたら、これは一大事だ。気が重くなってきた。う～ん これは困ったことだ。

「修三さん、どうしたの元気ないわね。久しぶりに山への感謝を声に出してみたのですが。ま、聞いている方としてはつまらないでしょうね。お粗末でした。」

東日本大震災にめげず

井上 優子

去る9月23日から6日間盛岡市内のある会場でイベントが開

キジバト君のお食事

「お、今日も来ているキジバト(山鳩)、デデ、ポッポと鳴く鳥です。最近よく来るなあ。」そんな日々が続いたある日、来ている訳が分かりました。我が家のブルーベリーを食べているのです。気が付けば、紫に熟した実がありません。あれ、メネットが食べてるのかな？聞いたところ、最近では食べていないとの事。「あ、あいつだ」キジバトが食べに来ているんだ。このキジバト野生のくせして、私の足元まで歩寄るのです。首を前後に振りな

編集後記

たったの2ページのブリテンで、なんの編集後記だと言う声が聞こえてきそうです。さらに10月まで入り込んで、発行が遅くなってしまいました。でもねみなさん。記事がないのにブリテンを発行するのは苦しいのですよ。早々と巻頭挨拶は書きあげましたがその後は5日間一行の文章も書けずに9月が終わってしまいました。大変失礼しました。

9月から10月は、栗の収穫時期です。昨年の事を思い出すと9月が終わろうとしている時期に全く落果しないという過去に経験が無い位、成熟が遅れました。収穫が終わったのは11月の風に吹かれる頃でした。今年は順調に落果しています、最盛期を迎えました。今日の雨で、大量の栗が落ちそうです。井上さん、大関さん、今年はたくさんプレゼントできそうです。クラブの皆様

催され仙台クラブウイメンのコメントが作品を出展、販売を手がけました。ご案内を頂いた際に十分にお話を聞いておらず礼を逸してしまいましたが、これからも機会があることを願い皆様にもお知らせをしたい次第です。

嫁いで宮城県七ヶ浜町に居を構えておりました。津波で被害を

受け、新生児を抱え実家に避難をして事なきを得ました。しかし、心の傷は深く、海に近づくことにため



らいがある日々が続いておりました。成長を続けるお子さんにせがまれて浜へ散歩に出、そこで拾った美しい石が作品を制作するきっかけになったのだそうです。透き通るブルー主体のイヤリング、ネックレスを中心に全体にやさしさにあふれた作品が並んでおりました。

また、制作を機に人々との繋がりも広がり、これからも大いに期待をしたいところです。ウイメンは吉田一恵さん、お嬢さんはさん、ブランド名はセブンビーチマナです。クロワツサンの店から出展しています。

がら近づいてきたときは、その可愛らしさに、「なんだ、おれはまだお前と友達になってないぞ。なんだよ」しゃがんで、手をだすと、思いつき飛び立っていきます。2日おきに、キジバトと交流が続く、お食事している光景を見てすべて理解しました。その証拠に食べ尽くして、実が無くなったとたん一度も登場しません。ブルーベリーの切れ目が交流の終わり。なんともげんきんなやつでした。「ポッポ」と名付けました。

も連絡いただければ、差し上げます。

いつだったか、カモシカの事はもう書かないと宣言しましたが、今年もモシカ、モニカ。サンクのカモシカたちは家の周りに来てく



れています。モシカは単独行動の雄、モニカとサンクは親子だと思いましたが、そうではないようです。なんとモニカとサンク(親子の個体だと思っ

ていました。)が私の前で交尾したのです。え、それでは親子ではないの？謎が深まりました。もしかしたら3頭いると思っていましたが、さらに2頭がいて都合5頭のカモシカが暮らしているのかもしれない。赤ちゃんカモシカが見たいです。